

週刊時事経済

発行所 17 市新川町
株式会社
時事経済新聞社
主幹 田原登
電話 4775
毎週 土曜日 発行
定価 3カ月 百円
一部 五円

勉強で評判の店
丸萬家具店
店舗 市四丁目
工場 市白銀町
電話 六六三三
六六三四

磯野、松本の一騎討

空前の激戦を展開

常磐市長選 投票は五月四日

常磐市長磯野清治氏が任期満了となるので四月二十四日選挙告示、五月四日投票を行うことになった。立候補者は現磯野市長(革新系)と元湯本町長松本久吉氏(保守系)の二人のほかに出馬する者がなく、結局右の両者の一騎討が展開され、選挙は既に始まっていると云われている。

有権者数は四月一日現在二万四千七百七十三人(男一、四九一、二二、六八二)である。

磯野、松本の一騎討は今のところ互角の勝負だといふ。これに現職であるからという強味もあって当確を信じている。

一方松本派は前回の市長選には保守系から矢吹洋司、松本久吉の二人出馬、矢吹は五、八八一票、松本は五、八三四票と割れたための落選であったが、矢吹派も松本に同調することになったのである。保守系票は二、七一一票あり、革新派は前回磯野七、三九九票、日野利春一、五八八票で計八

五市の協力を受けよ

バス問題で思う 田原 登



三十余万石城郡らしいと云われている。市民の注目も、即ち常交では大坂市の堺と五市公営バスと結んだ運賃協定問題の話し合いがまま進んでいる。

五市側は大きく譲歩して公営バスの運賃をしない。そのかわり常交の株の分、経営の参加、運賃協定の設立を申し込んだ。これに対し常交側は運賃協定の設立には賛成したが、他の二案には賛成でなく、協定の撤回を要するところになった。正式回答はまたなされてないが、非公式には、協定だけなら話し合いをノットして回答した。

内郷市も湯の町に

四町家屋に分湯する

内郷市では御殿の大量の排湯を分けて使用するいわゆる分湯問題について、一昨年来検討してきたが、ようやく分湯することに決り、その第一計画として御殿、小島、御台、綴町(一部)の家庭に分湯することになった。

綴町(一部)の家庭に分湯することになった。綴町(一部)の家庭に分湯することになった。

新潟線国道造り

中好間は舗装工事

二級国道平新線の新潟線は急ピッチで進められている。現在好間村元山地区の家屋百三十戸の移転が完了し、国道の建設が始まっている。好間村元山地区の家屋百三十戸の移転が完了し、国道の建設が始まっている。

五大字が平商誘致 候補地は鯨岡と中塩

町田、和良、鈴木、長、議員ら二十五人で話し合った結果、五大字地区は平商誘致に協

知見が国

ひとの尊厳はどんな時代から来ようが変ってならないものだが、実際はそうではない。あの戦争で、けた途端に男の値打がさがり、小説の主人公が五五五五五に落ちた。

奥さまの数ある夢のなかで
台所をステンレス化するのも、とても切実なものの一つでしょう。藤越では有名なサンウエーブの厨房器具をそろえました。

ステンレス調理台 一万五千五百円
ステンレス張り木製調理台 七千五百円
ステンレスシンク 九千八百円
ステンレスシンク 二万三千円
ステンレスシンク 四万三千円
ステンレスシンク 七千七百円
ステンレスシンク 七千七百円
ステンレスシンク 七千七百円

平の代表的土産品

平の生んだ世界的作曲家八橋検校の作曲せる名曲「六段の曲」を記念する

六段本舗 平 凡 平 駅前
電 2,509

店舗を新築(現店舗の東)

近日中に移転

勉強で評判の店

丸萬家具店

市四丁目 電六六三三

